第３学年　道徳科学習指導案

１　主題名　　隠さず正直に（Ａ　正直・誠実）

２　教　材　　「まどガラスと魚」　　　出典「３年生のどうとく」　文溪堂

３　主題設定の理由

（１）子どもの実態について

　本学級では、先日行った「道徳に関する質問調査」において、「正しいことは、自信をもって行うことができる」、「正直に明るく生活している」という質問に、「そう思う・どちらかと言えばそう思う」と回答した児童がそれぞれ80%いた。しかし、普段の生活を振り返ってみると、学級で問題が起こったときに、心当たりがある者はいるかという問いに対して、「僕じゃない」「私じゃない」といった発言があったり、いつまでも該当者が現れなかったりすることが多くある。アンケート結果と児童の実態とにかけ離れた部分があり、日常生活の中で自分に不利な状況になったり、怒られたりしそうなときは、自分を守ろうと嘘をついたり、ごまかそうとしたりしてしまうことがあると感じる。そこで、正直について考え、嘘をついたりごまかしたりせず、正直に行動することの気持ち良さに気づかせ、正直に行動しようとする態度を育てたい。

（２）道徳的価値について

正直とは、自分自身に対する真面目さであり、心の明るさであると考える。頭で理解をしていても、言わなければ周りに知られることはないし、正直に言うことによって叱られることもあるので言いたくないと、自分自身を守るために正直でない行動をとることがある。資料の登場人物の葛藤と自分自身の経験を結びつけて考え、明るい心で過ごせるような姿勢を身につけさせることが必要であると考える。

（３）教材について

本教材では、主人公の進一郎の投げたボールが、知らない家の窓ガラスを割り、逃げ去ってしまった。次の日、その家の窓ガラスに張り紙がされていたが、謝ることができなかった。そこへ、夕飯のおかずの魚を飼い猫が持ち去ったのを見つける。その後、猫の飼い主が進一郎の家へ、お詫びに魚の干物を持ってくる姿を見て、ガラスを割ってしまった家に謝りに行くことを決心するという話である。

本教材では、猫の飼い主の行動から、進一郎の心が変化したことに重点を置いて学習し、正直・誠実に行動することの大切さを学びとらせたい。本教材は、児童達にとって身近な出来事であるため、物語に共感することが容易であると考える。本主題で用いるのにふさわしい教材であると考える。

（４）豊かな心とたくましさを育むための手だて

　①豊かな心を育むために

・問題解決型の授業展開

下校後に、友達と二人で忘れ物の水筒を教室に取りに戻ったとき、水筒のひもが加湿器に引っかかり、倒して壊してしまう。一緒にいた友達は、内緒にしておくから早く帰ろうよという場面を設定し、教師が一緒にいた友達役を演じ、壊してしまう子を児童に演じさせ役割演技を行う。活動４までで学習したことをもとに、実際に行動に移すことができるように、数名の児童を指名し行う。そうすることで、学習内容が実生活の中で生かされるための手がかりとなると考える。

②たくましい心を育てるために

・抽出児の設定

　　　事前に行った「道徳に関する質問調査」に関するアンケート結果をもとに、「正直誠実・明朗」に対する意識を高めたい児童を抽出児に設定し変容を追う。

③２１世紀を生き抜く資質を養うために

　　授業後の生活や行事から、できるようになったことを認めたり、違う教材を用いて同じ内容項目の授業を行ったりすることで、正直で誠実な姿を多く見ることができる場面や機会を増やす。

４　本時の目標

①主人公の心情の変化を考えることにより、正直に行動することの大切さに気づかせる。

②過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活しようとする態度を育てる。

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 教師の活動 |
| きづく  （3）  つかむ  (7)  ねる  (10)  ふかめる  (15)  ひろげる  (5)  みとおす  (5) | １　最近、正直に謝れなかったことはありますか。  ・姉の大事なものを壊してしまったとき。  ・妹の消しゴムを持っていたのに、嘘をついてしまったとき。  「正直に言うこと」について考えよう。  ２　進一郎のことで気になったところは何ですか。  ・謝らないといけないのは分かっているけど、どうして謝らないで走って行ったんだろう。  ・どうして何度もガラスの様子を見に行ったんだろう。  ・どうしてすぐに謝らなかったんだろう。  ・どうして謝ろうと思ったんだろう。  ３　どうして進一郎は、謝らないで逃げてしまったのだろう。  ・謝らないといけないけど怒られるのが怖い。  ・悩んでいた。  ・友だちにつられてしまった。  ・違う人のせいにしてしまってもいいかな。  ４　なぜ、進一郎は謝ろうと決めたのだろう。  ・ガラスが割れてしまった家の人に悪いし、自分も後悔するから。  ・心の中にずっと残る。  ・ばれたらもっと叱られる。  ・山田さんのお姉さんを見て自分も謝ろうと思った。  ・謝ったらすっきりすると思ったから。  ５　自分が同じような立場ならどうするか。  ・内緒にしておきたいけど、正直に言わないとだめだよ。  ・内緒にしていると、相手に嫌な思いをさせちゃうし、自分も嫌な思いになっちゃう。  ６　今日考えたことで、どんなことが大切だろう。  ・正直に言って謝る。  ・すぐに謝る。  ・正直に言って謝れば、自分もされた人もほっとする。 | ・最近の自分の様子と調査結果を比較して、実生活に生きていないことに気付かせる。（手だて②）  ・学習テーマを知らせる。  ・進一郎の気持ちになって聞くことを伝え資料を範読する。  ・同じ意見でも認め取り上げる。  ・進一郎のことに焦点を置きながら意見を聞き、進一郎以外についての意見が出たときは、進一郎とのかかわりについて問い返しをする。  ・学習課題を児童の意識に合わせて柔軟に決定する。  ・進一郎のうしろめたさを共感できるように、同じ意見でも取り上げる。  ・葛藤する進一郎の心情に共感したところで、なぜ謝ろうとしたのか問い返し活動４につなげる。  ・発問後にワークシートを配付し、考えを聞く。  ・山田さんのお姉さんに関する意見が出た際には、どのような姿から謝ろうと決めたか問い返しをする。  ・活動3の意見と結びつけながら、意見を取り上げる。  ・教師と数名の児童で、役割演技を設定する。（手だて①）  ・役割演技で進一郎と似た状況になるように役割を設定し、演じた児童を称賛する。  ・「正直」、「すぐに謝る」、「相手の気持ちを考える」といった言葉を書いた児童を、数名意図的指名し、意見を称賛する。 |

６　評　価

1. 主人公の気持ちに共感したり、友達の考えを聞いたりすることを通して、正直について考え、正直に行動することの大切さに気づくことができたか。

　　　　　（活動3、4の発言、活動4の記述から）

1. 話し合いや役割演技を通して、正直に行動することが大切であることに気づき、自分も相手も気持ちよく生活しようとする気持ちを高めることができたか。

（活動5，6の発言、活動6の記述、その後の行動から）

７　板書計画

どんなことが大切か

どうして進一郎はあやまらないでにげてしまったのだろう

正直に言えなかったこと

・正直に言ってあやまる。

・すぐにあやまる。

・かくさずに言う。

・はんせいする。

・自分もやられた人も、

　ほっとして落ち着く。

・ガラスが割れた家の人に悪い。

　こうかい。

・心の中にずっとのこる

・ばれたらもっとしかられる。

・山田さんのお姉さんを見て

→あやまったらすっきり

すごくあやまっているところ

おわび　正直に

・不安

・あやまらなきゃの中に

おこられる。→こわい

・なやんでいた。

・ちがう人のせいでもいいかも。

・友だちにつられて。

・テストをかくした。

・水をこぼした。

・姉の大事なものを

こわした。

・妹の消しゴムを

もっていた。